

白河民商

発行所
白河市天神町28
白河民商工業会
TEL(27)3161

「無料法律相談・なんでも相談会」
12月10日(木) 午後4時〜
「相談のある方は事前にお申し込み下さい」



「商売を語る会」開催!

11月24日(火) 6時30分より税対・経営金融部会主催の「商売を語る会」が開催され17回目を迎えました。コロナ禍での開催ではあったものの44名の参加者で会場はいっぱいになりました。

税対・経営金融部会責任者の南條副会長のあいさつの後3名の方々に商売について熱く語っていただきました。

一番目には有限会社クマイ(東石民商会長)の熊井利治さんが『住環境を安心でつむりノベーション』と題しお話をいただきました。2009年に話をしていただいてから2度目の登場ですが、新光触媒施工で空気清浄効果、カビ対策、除菌抗菌、消臭ができるなどウイルスの死滅効果で、コロナが抑えられればいいなど話がありました。参加者からは「以前に遮熱の塗装をお願いして電気代が抑えられた」などの発言がありました。

二番目には、株式会社河島工務店(泉崎支部)の河島重昭さんが『法人化にして4年間の活動のあり方』について話していただきました。現在、職人とホームアドバイザー含め5名のスタッフで営業していることや、HP・ツイッター・インスタグラムとSNSを利用して情報発信で顧客獲得をしているとのことでした。180人の顧客がいるが、約8割がお得意さまで「住まいのことならすべて河島工務店で!」と信頼される工務店でありたいこと、お客様に喜ばれる仕事をしていきたいと抱負を語っていただきました。

三番目には麵屋すがぞう(白河3支部)の菅原友之さんが『8年間経営しての実感』と題し話をしていただきました。ラーメンの食べ歩きをきっかけに5年間修行してのオープンだったそうです。毎日、売上とにらめっこし、プレッシャーを感じながらの商売だったとのこと。知り合いからの紹介がきっかけで民商に入会、確定申告や融資や商売について相談したことで商売を続けてこられたと民商のよさにも触れていただきました。今、コロナ感染症拡大で、営業自粛を余儀なくされコロナと戦いながら持続化給付金に助けられた事、融資獲得で現在のお店に移転でき営業できたことはよかったですと述べていました。

ボクサーライセンスを持つ自身の経験にふれ、「一人では生きていけない。商売を続け、裏方で支えていただいている民商さん、お店を作ってくれた職人さん、一緒に働いてくれていて家族のみんなに感謝の気持ちをもって頑張っていきたい」と意気込みを語っていただきました。大きな「メール」を送りたいと感想を述べた参加者もいました。



クマイ 熊井さん



麵屋すがぞう 菅原さん



河島工務店 河島さん



全商連(11月23日) 共済会第26回総会開催!

全商連共済会第26回定期総会が開催され、県内から4人の理事・代議員が参加しました。白河からは共済会理事長の中西副会長も参加し、今後の共済会の活動について討議しました。コロナ禍での総会でズーム参加でしたが、満場一致で総会成立となりました。

